

2017年2月4日

## 当社の再建に関しまして

現在、当社は外部専門家委員会を設置し、エアバッグのリコール問題への対処を目指すべく、当社の再建計画の策定作業を依頼しております。一部報道で、スポンサー候補として「キー・セイフティー・システムズ社」の名前があがっておりますが、現時点では同委員会より同社を推薦いただいた段階であり、当社としてスポンサーを決定した事実はありません。

一方で、再建方法につきましては、法的整理が前提であるかの報道がありますが、今後外部専門家委員会において関係者と協議してゆくことになっていることから、現時点でその方法につきましても何ら決定した事実はありません。尚、一部報道にありました自動車メーカーの意向に関しましては、当社は了知しておりません。

当社は再建策の策定にあたり、リコール交換部品供給を含めた製品の安定供給を最優先に考えており、全てのステークホルダーに配慮した、法的整理の方法によらない関係者合意による再建の方向性を目指しております。当社の意向につきましては、外部専門家委員会にも十分お伝えいたしております。引き続き、関係者とは協議を重ね、継続的なご協力・ご支援をお願いしてまいります。

今後開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上